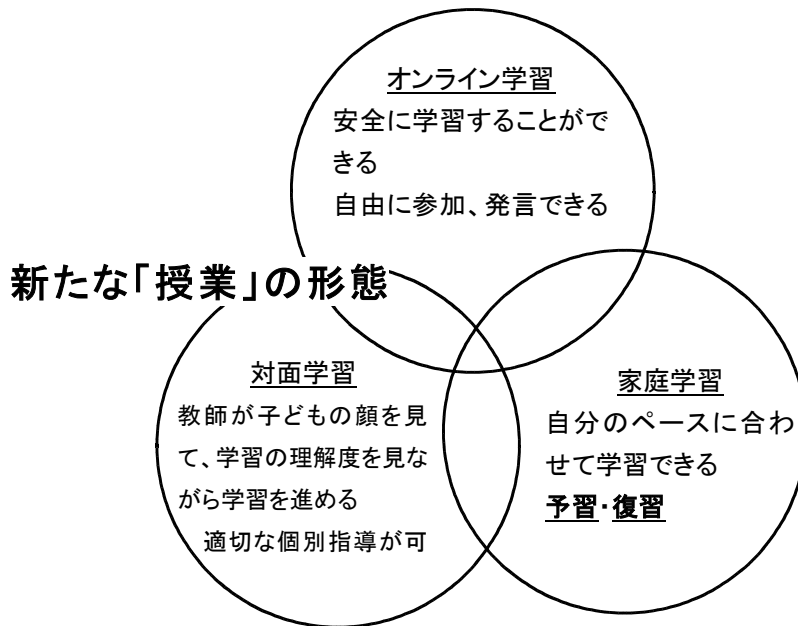


夏休みを終えても、新型コロナウイルス感染症のために、登校できない日々が続いています。沖縄県に発出されている緊急事態宣言も、どうやら延長されそうです。子どもからは、「いい加減、もう飽きた」、「早く学校へ行きたい」という声が聞こえてきそうです。

また本校では、本格的にオンライン学習も開始され、先生と顔を合わせて学習することもできるようになりました。さて、お子様はオンライン学習に慣れましたでしょうか？先生方も、試行錯誤しながらオンライン学習を進めています。今回の学校だよりでは、これまでオンライン学習を実施して、見えてきたことについてお話いたします。

屋部小学校の考える、オンライン学習を加えた新しい学習形態



これまでの教室での「授業」という学習形態に加えて、オンライン学習という新たな学習形態が加わりました。これまでの実践から、オンライン学習には、①感染症を気にせずに学習できる、②普段発言できない子も自由に発言できる、③気軽に参加できる、等のメリットがあることがわかりました。しかしその一方で、①回線や機器のトラブルがある、②子どもの学習の理解度がわからない、③きちんと学習に参加しているか把握できない、等のデメリットもあります。

このようなことから本校では、オンライン学習だけで「授業」が成立するとは捉えず、これまでの学習形態である対面学習との接続も加味した、新たな「授業」の形態を模索して参ります。また、家庭学習のあり方も、今後検討が必要です。オンライン学習のデメリットを補うためには、事前の予習と学習後の復習が重要になると思われるからです。

この新たな「授業」形態は、感染症対策だけでなく、様々な場面での活用が今後予想されます。しばらくは試行錯誤の取り組みが続きますが、保護者の皆様には、どうぞご理解ください。

